

第1章 はじめに

1-1 安城市雨水マスタープランとは

皆さん、「安城市雨水マスタープラン」をご存知ですか。

安城市では、平成12年の東海豪雨を契機に内水対策総合計画を策定し、調整池（雨水を貯留する施設）の整備に力を注いできましたが、平成20年8月末豪雨でも1時間当たり最大雨量77mm、総雨量226mmの集中豪雨により、床上浸水15戸、床下浸水72戸の大きな被害が発生し、行政による雨水対策の限界を痛感しました。また、安城市は明治用水と広大な水田がもたらす恵みにより育まれてきましたが、多くの水田が開発され、雨水が一気に流出するようになったことが水害のリスクを高める要因になっていることも指摘されていました。このような背景から、より水害に強いまちづくりの実現に向けて、市民、事業者及び行政が協働して取り組むべき雨水対策の方向性を示したものが雨水マスタープランであり、平成23年3月に10年間（平成23年度～令和2年度）の計画を策定して以降、今日まで様々な施策に取り組んできました。

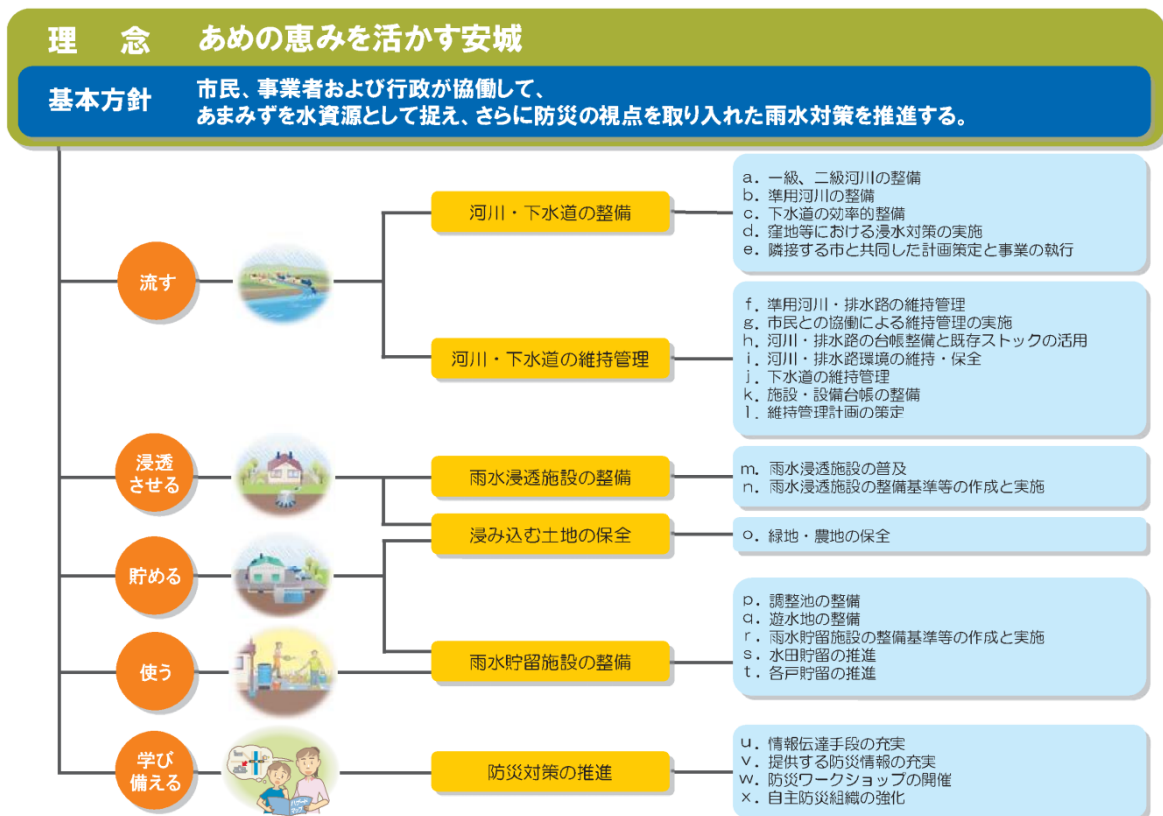


図 安城市雨水マスタープランの施策体系

なお、雨水マスタープランは、総合計画（自治体経営の最上位計画）及び国土強靱化地域計画に基づく個別計画の一つであり、市が定める他の個別計画（緑の基本計画、農業振興地域整備計画、地域防災計画など）や国・県が定める河川整備計画などと連携しながら進める計画です。

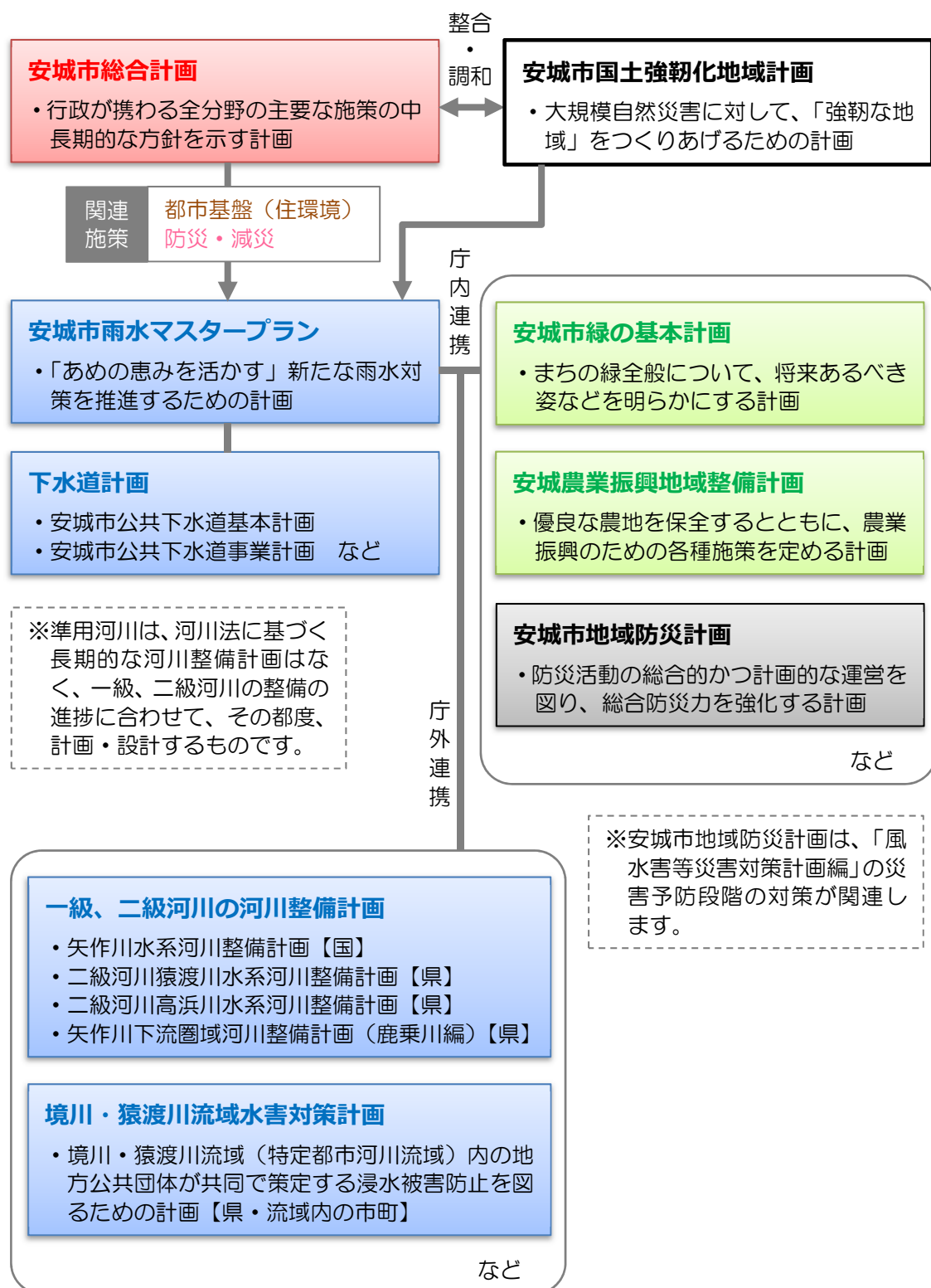


図 安城市雨水マスタープランの位置づけ